

最上川合流地点の水位差1・2メートル

最上川河口付近における京田川合流地点の問題について、昨年7月25日～26日の大雨時に、両河川の水位差が最大1・2メートルに達し、京田川の水位が最上川より高まっていたことが、市土木課から、最上川河口付近の下瀬と、

京田川広田の水位観測所のデータを入手し、水位比較表を作成。これを、市と国交省酒田河川国道事務所に提出していました。住民主体の期成同盟会（田中寿一会長）が5日、国交省と庄内総合支庁、市土木課との話し合いを持ち、学識者の知見を求めました。市と国交省は、データをグラフ化して期成同盟会に示し（図）、「流量、流速が異なる河川

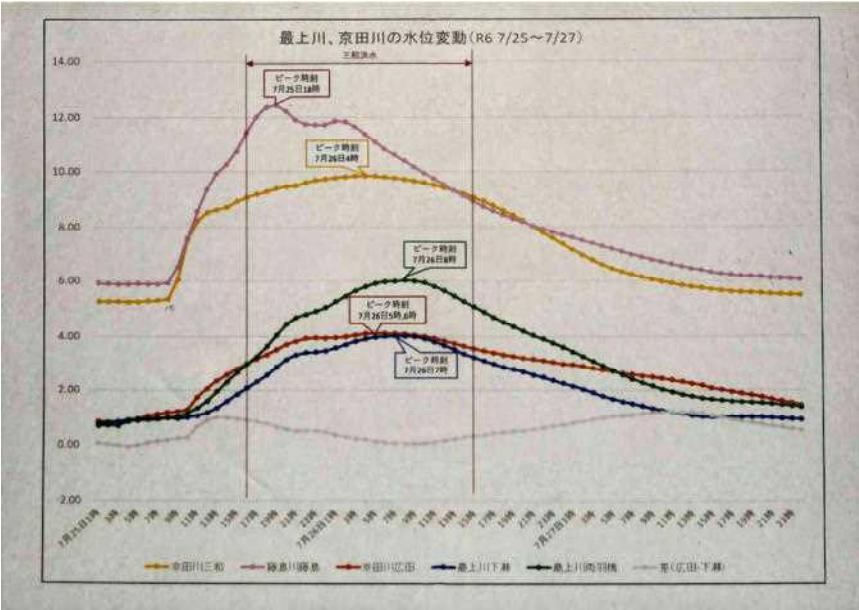
が合流するため、流れの抵抗が上流部で水位上昇の可能性があるので。両河川の水位差は今回、初めてデータとして明らかに、富樫氏の貴重な調査です。氏は、「皆川市長が市職員に、住民に寄り添うよう進言してくれたことが、忙しい中でも担当者が、一市民の要望に親切に対応して頂いたおかげ」と話しています。

三和洪水2024年7月25日、26日、27日の水位比較（抜粋）						
年 月 日 時	京田川三和	藤島川藤島	京田川広田	最上川下瀬	広田・下瀬差	摘 要
2024年7月25日	1 時	5.26	5.91	0.84	0.76	0.08
	2 時	5.27	5.89	0.83	0.80	0.03
	3 時	5.26	5.88	0.83	0.84	-0.01
	4 時	5.25	5.88	0.84	0.90	-0.06
	5 時	5.25	5.89	0.93	0.93	0.00
	6 時	5.28	5.88	1.04	0.95	0.09
	7 時	5.30	5.88	1.11	0.97	0.14
	8 時	5.35	5.92	1.16	0.98	0.18
	9 時	6.06	6.52	1.20	0.95	0.25
	10 時	7.53	7.59	1.27	1.00	0.27
	11 時	8.24	8.57	1.73	1.06	0.67
	12 時	8.54	9.36	2.06	1.17	0.89
	13 時	8.63	9.94	2.35	1.35	1.00
	14 時	8.72	10.26	2.57	1.59	0.98
	15 時	8.93	10.75	2.79	1.85	0.94
	16 時	9.08	11.44	2.99	2.09	0.90三和洪水始まる
	17 時	9.18	12.20	3.17	2.32	0.85
	18 時	9.28	12.36	3.33	2.57	0.76
	19 時	9.39	12.43	3.52	2.87	0.65藤島最高水位
	20 時	9.46	12.23	3.71	3.15	0.56
2024年7月26日	1 時	9.77	11.86	3.96	3.59	0.37
	2 時	9.81	11.84	3.99	3.71	0.28
	3 時	9.84	11.65	4.06	3.83	0.23
	4 時	9.85	11.38	4.11	3.91	0.20三和最高水位
	5 時	9.84	11.10	4.12	3.98	0.14広田最高水位
	6 時	9.80	10.83	4.12	4.01	0.11
	7 時	9.76	10.62	4.11	4.03	0.08下瀬最高水位
	8 時	9.71	10.39	4.10	4.02	0.08
	9 時	9.65	10.17	4.05	4.00	0.05水位差最小
	10 時	9.59	9.94	4.00	3.92	0.08
	11 時	9.51	9.74	3.93	3.81	0.12
	12 時	9.42	9.53	3.84	3.67	0.17
	13 時	9.32	9.32	3.75	3.53	0.22
	14 時	9.21	9.12	3.64	3.36	0.28
	15 時	9.07	8.93	3.56	3.23	0.33三和洪水収まる
	16 時	8.93	8.75	3.47	3.11	0.36
2024年7月27日	1 時	7.16	7.62	2.95	2.15	0.80
	2 時	6.96	7.51	2.89	2.04	0.85
	3 時	6.78	7.41	2.82	1.91	0.91
	4 時	6.61	7.30	2.76	1.78	0.98
	5 時	6.46	7.19	2.70	1.67	1.03
	6 時	6.34	7.09	2.63	1.58	1.05
	7 時	6.24	6.98	2.59	1.50	1.09
	8 時	6.14	6.88	2.54	1.41	1.13
	9 時	6.06	6.79	2.49	1.33	1.16
	10 時	5.98	6.71	2.44	1.25	1.19
	11 時	5.91	6.62	2.38	1.18	1.20水位差最大
	12 時	5.84	6.54	2.32	1.14	1.18
	13 時	5.79	6.46	2.25	1.07	1.18
	14 時	5.74	6.39	2.18	1.03	1.15
	15 時	5.69	6.32	2.08	1.01	1.07
	16 時	5.65	6.26	2.01	1.01	1.00
	17 時	5.62	6.22	1.94	1.02	0.92

t. p. m補正（東京湾の平均海面からの高さ）三和+4.65、藤島+5.56、広田-0.089、下瀬0.0
※富樫金雄氏（三和）作成の水位比較表から抜粋



京田川合流地点：国交省酒田河川国道事務所



最上川・京田川の水位変動グラフ（国交省酒田河川国道事務所作成）



最上川・京田川の水位変動グラフ（鶴岡市建設部土木課作成）

③ 対話の市政を前へ

(1) 合併20周年 鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海 各地域を前へ

活力ある中心市街地と個性あふれる地域をつなぎ、結ぶ東北一広いつるおか共創まちづくりを推進するため、中心市街地の(賑わい)公民共創のまちづくり推進事業、銀座通り街路整備事業、三日町口通り・みゆき通り街路整備事業、(居場所)新図書館整備事業、(観光)中心市街地観光周遊促進事業、(居住)小規模連鎖型区画再編事業、(移動)市内循環バス機能強化・モビリティ・マネジメント事業を有機的に連動させ、中心市街地の魅力を高めます。

また、平成29年に策定した鶴岡市都市再興基本計画(鶴岡市都市計画マスタープラン・鶴岡市立地適正化計画)の見直しに向け、その中間評価を行い、市民プールの再配置計画の策定を含む合併20周年から先の都市計画の新たな方向性を市民参画のまちづくりの中で示します。

藤島地域における小中一貫義務教育学校の整備と藤島地域文厚エリアの整備を推進します。渡前地区地域活動センターの体育館については、老朽化が進行しており、小中一貫校整備を進める中で、渡前小学校の校舎等の取扱いについて検討が必要となることから、その際に必要な機能が整備ができるよう取組みを進めます。

Hisu花ワークショップによる庄内最大級のイルミネーションの魅力を発信します。

「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出された手向地区のまちなみ、杉並木を新手法で未来へつなぎます。

泉地区地域活動センターへの機能集約に向けて、令和7年度に新施設の整備基本構想を策定します。

黒川能のインバウンド対応を支援、強化し、世界に誇る神事を次世代に引き継ぎます。将来的な姉妹都市の締結を見据え、学校間の交流に取り組みつつ、熊本市、熊本市教育委員会との交流を強化します。

「R天国」湯殿山スキー場に、新たに地域おこし協力隊を配置し、ウィンタースポーツと夏のオートキャンプ場をフル活用し、オールシーズン化を推進します。

産直あさひ・グーについては、ぼんぼの温泉休止に伴い、ふっくらへの移転の再検討が必要になっており、まずは、市として現在地の課題などを整理した上で、今後の方向性を明確にします。

令和7年8月に着手した道の駅あつみの鼠ヶ関IC(仮称)隣接地へ移転整備について、事業主体と行政、地域が連携し、人材育成や、新商品開発、水産販売の体制づくりを進めます。

越沢三角そばについては、観光プログラムに組み入れながら、玄そばの品質確保と反収増加に向けた栽培技術の習得、首都圏等でのプロモーション活動を行います。

(2) 市民党、市民目線、住民主体のまちづくりを前へ

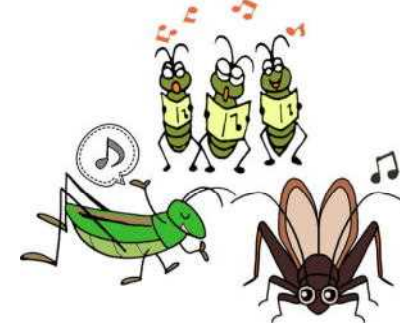
5日発表された皆川
治市長の政策パンフレ
ットから、旧市町村の
まちづくり政策を掲載

しました(左)。
あえて注文を言えば、
「地域振興懇談会」を
「協議会」にし、役員

のあて職はやめ、選挙
で、やる気や意見のあ
る人を選び、報酬も保
障し、住民自治の原点
に還ること。
新潟県上越市の実践
に学ぶことです。

合併20周年、地域を前に 皆川治市長の政策パンフレットから

既〓もはや。とつくに。微涼〓わずかなすずしさ。秋気〓秋の気候。
けはい。蚊蠅〓カとハエ。消散〓散るようにして。消えて無くなる。
候蟲〓秋の虫。連宵〓毎夜。草叢〓草の茂りあった所。草むら。促織
〓こおろぎ。哀音〓悲しい音色。切切〓悲しくさびしげなさま。



聞虫声 虫声(ちゅうせい)を聞(き)く 城貞(藤の花)

既有微涼秋氣生 蚊蠅消散候蟲鳴
連宵窓下草叢処 促織哀音切切声

既〓に微涼 有〓りて秋氣 生〓ず
蚊蠅 消散して候蟲 鳴〓く
連宵 窓下 草叢の処
促織 哀音 切切の声

暑さの雑感

異常な高温も毎日となれば異常とは言えないだろう。だから日本の気候が、亜熱帯気候の域にあるのではなからうかとは解せる話だ。
▲今年蟬の声は聴きましたか。鳴き声の少なさは何故なんだろう。ニイニイゼミの鳴き始めは去年などと変わらなかったように思うが、蟬が居ないようだった。柿畑に残る抜け殻の数とその声は、例年の数%というところ。油蟬に至ってはその声を畑では聞かなかった感じだし、抜け殻も見たのは一つ二つか。この暑さなら、まだ声がしていても不思議ではないのに。蝸・ツクツクボウシの声はなし。虫がいなければ卵がない。今年卵がないとなれば、何年か後には蟬のいな

い年になる事に。
▲郭公とカラカラジ(正しくはオオヨシキリ)は、托卵と子育ての関係。共に同じ頃帰ったか。郭公と少しは関係があるかもと思ってる驚は、いつもの年より長くさえずっていた感じ。燕は、来るも帰るも来た数も変わらなかった模様。
▲夏の虫類はどうだったんだろうか。虫の数が少なく燕は子育てに苦労したと思っていたが、2度孵したと聞いた。秋の虫はというと、チャンと暦通り鳴き始めたが、スイッチョンという音は何年も聞いてないじゃない？
▲210日と言えば、子供の頃は台風が来る日と教えられていたが、今は年中どこかで線状降水帯とやらで突風に洪水だ。秋田・新潟にそれがあっても、有難い事に庄内は難を逃れているんだ。(石川)